



令和7年11月14日

各位

会社名 株式会社日本一ソフトウェア
代表者名 代表取締役 猿橋 健蔵
(コード番号：3851 東証スタンダード市場)
問い合わせ先
役職・氏名 取締役 平岡 三知
電 話 058-371-7275

業績予想の差異発生に関するお知らせ

当社は、本日公表の令和8年3月期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の第2四半期累計期間の業績につきまして、令和7年6月20日付にて公表いたしました令和7年3月期の業績予想（連結・個別）との差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 令和8年3月期 第2四半期累計業績予想（連結・個別）との差異

(1) 令和8年3月期 第2四半期連結累計期間（令和7年4月1日～令和7年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回予想 (A)	1,396	△264	△254	△237	△47円01銭
今回実績 (B)	1,244	△322	△189	△224	△44円39銭
増減額 (B - A)	△152	△58	65	13	—
増減率	△10.9%	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (令和8年3月期 第2四半期)	2,447	△205	△136	△171	△33円98銭

(2) 令和8年3月期 第2四半期個別累計期間（令和7年4月1日～令和7年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回予想 (A)	429	△179	△169	△33円48銭
今回実績 (B)	363	△176	△189	△37円45銭
増減額 (B - A)	△65	3	△20	—
増減率	△15.3%	—	—	—

2. 主な差異発生の理由

(1) 連結業績

売上高につきましては、国内市場において発売したタイトルの販売本数が予想を下回って推移したことを理由として、前回予想を下回りました。

営業利益につきましては、上記事項を主たる要因として前回予想を下回りました。

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、為替相場が予想より円安進行したことによる為替差益を主たる要因として前回予想を上回りました。

(2) 個別業績

売上高につきましては、連結業績に記載の内容を主たる要因として前回予想を下回りました。

3. 通期業績予想

令和8年3月期の通期業績見通しにつきまして、当第2四半期連結累計期間の業績は当初業績予想に比べて下回って推移しておりますが、当第3四半期以降に発売を予定しておりますタイトルの販売動向が通期業績に与える影響を鑑み、現段階においては令和7年6月20日に公表しました通期業績予想から変更しておりません。今後の受注状況や、その他の発売予定タイトルの開発状況等を勘案し、通期業績予想について修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

令和8年3月期の通期業績予想は以下のとおりであります。

(連結)

売上高	4,774 百万円	(前期比 9.9%減)
営業利益	81 百万円	(前期は 274 百万円の営業損失)
経常利益	154 百万円	(前期は 75 百万円の経常損失)
親会社株主に帰属する当期純利益	31 百万円	(前期は 157 百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)

(個別)

売上高	1,081 百万円	(前期比 23.8%減)
経常利益	△118 百万円	(前期は 218 百万円の営業損失)
当期純利益	△121 百万円	(前期は 382 百万円の当期純損失)

(注) 上記予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上